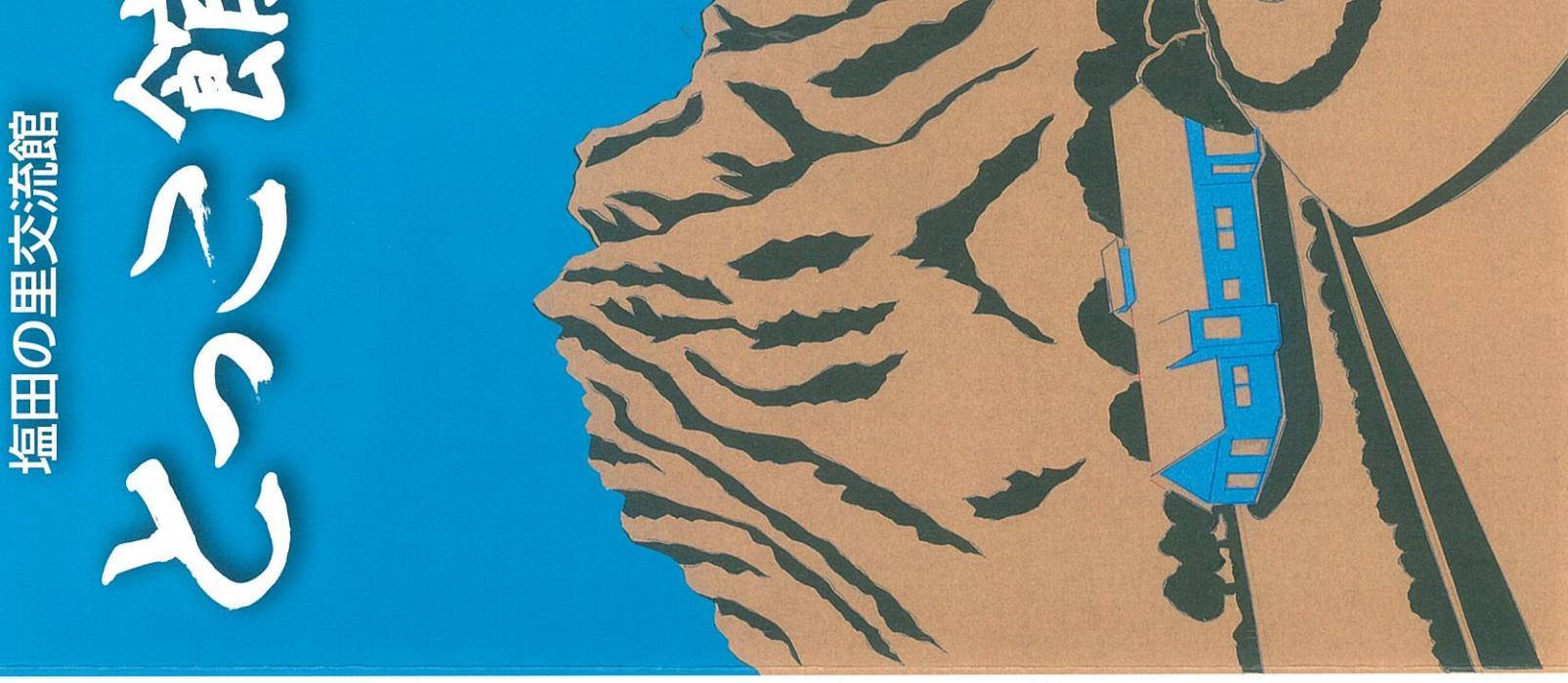
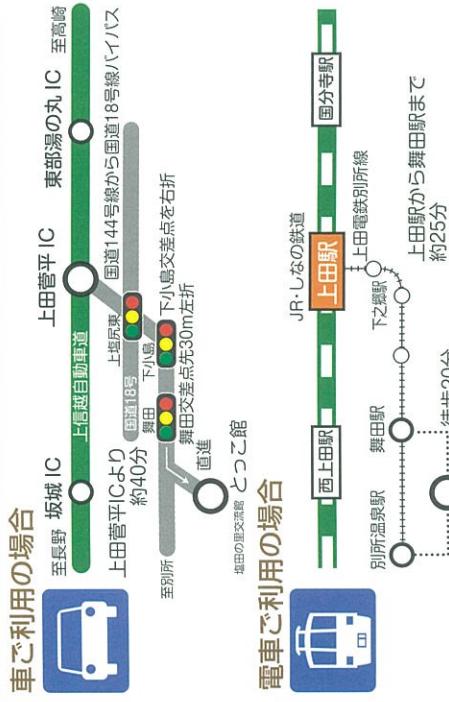


とっこ館

塩田の里交流館



塩田の里交流館 とっこ館 交通のご案内



●営業時間 午前9時～午後5時(要請があれば午後10時まで)
●休館日 水曜日(ただし、祝祭日はその翌日)
●料金表 (入館・見学は無料)

利用区分	午前 (午前9時から 午後10時まで)	午後 (午後10時から 午後5時まで)	夜間 (午後5時から 午後10時まで)	昼間 (午前10時から 午後5時まで)	超過時間につき 料金
研修の間	1,370円	1,370円	2,140円	2,140円	280円
語りの間	940円	940円	1,470円	1,470円	190円
体験の間	1,740円	1,740円	2,710円	2,710円	360円

・利用者が営利を目的とした場合に料金を徴収する場合は、使用料の100%+ゼントの額を、
・営利を目的とした場合に料金を徴収する場合は、使用料の30%+ゼントの額が加算されます。
・冷暖房費 (時間150円~210円) が別途加算されます。
・その他、プロジェクターや放送施設、調理台の貸し出しを受けて付けてあります。
・詳細につきましてはお問い合わせ下さい。

■お問い合わせ先
塩田の里交流館 (愛称とっこ館)
〒386-1433 長野県上田市手塚792
TEL 0268(39)7250 FAX 0268(39)7251
E-mail:info@shiodananosato.jp
URL http://www.shiodananosato.jp/

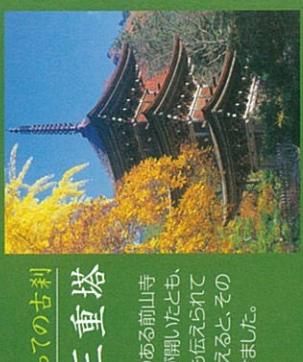
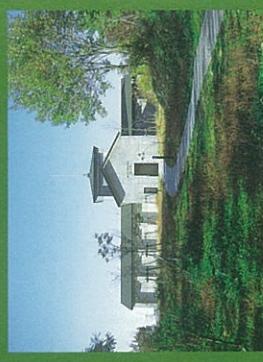
古い歴史と文化を刻む

日本唯一の唐風塔 安樂寺 八角三重塔

杉立たちの中のゆるやかな石段を登つめると、木々の間に、国宝の八角三重塔が端然と立っています。一見四重塔にみえるが三重塔です。一番下の屋根は銅造(ちくぞう)といつて塔の軒下に一段低く取り付けたさかげ屋根です。建立は鎌倉時代の1290年代です。

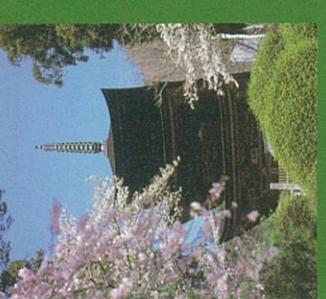
北向観音堂

北向観音の歴史は古く、平安時代(天長2年(825))の創建といわれています。昔から日本全国の人々の創建といわれています。その名の通り北向きで、南向きの長い廊の脇に参拝したら善光寺と向き合っていて、善光寺に参拝したら北向観音にも参拝しないと片づきになるとわかれています。境内に愛染かつらの大樹や数多くの歌碑があります。



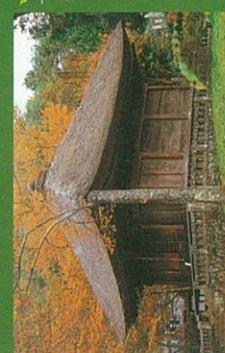
思わず振り返りたくなる 塩田平さきっての古刹

「未完成の完塔」と呼ばれる美しい三重塔のある前山寺は独鉢山の廟にあります。平安時代に弘法大師が開いたと、鐵倉時代に四國・讃岐から来た僧長秀の開基とも伝えられています。延治三年(1250)に東前山に館をかまえると、その跡頃寺どおり、戦国時代に武田信玄の保護を受けました。



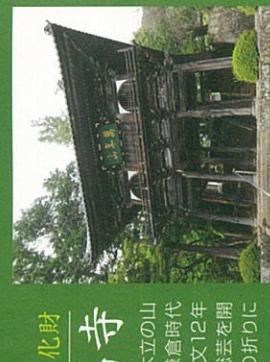
国宝大法寺三重塔

「未完成の完塔」と呼ばれる美しい三重塔のある前山寺は独鉢山の廟にあります。平安時代に弘法大師が開いたと、鐵倉時代に四國・讃岐から来た僧長秀の開基とも伝えられています。延治三年(1250)に東前山に館をかまえると、その跡頃寺どおり、戦国時代に武田信玄の保護を受けました。



中部日本最古の 重文大法寺三重塔

中部日本最古の木造建築といわれる中禅寺宝塔の姿があまりにも美しいので、見返りの塔なども呼ばれます。周囲の風景と調和しながら凛と佇む姿が迫力あります。



東昌寺

東昌寺は上田市の有形文化財鐘楼は上田市をくぐる杉木立の山道を登り始めた所に建っています。創建は鎌倉時代(建長2年(1250))と伝えられ、室町時代(天文12年(1551))に福井県の心寺の第七世・才庵縊ヶ谷を開山に迎えて、これまで臨済宗だったのが、この折りに曹洞宗となりました。

田園空間博物館とは

塩田、川西、青木地域には、美しい景観や豊かな自然、また人々の暮らしによって長い間に培ってきた伝統や文化等、様々な魅力が存在します。

これらの人々の魅力を博物館の展示物と見立て、塩田地域、川西地域、青木地域を一つの「屋根のない博物館」として紹介・活用しようという構想が「田園空間博物館」です。

基本的な考え方

農業・農村の営みを通じてはぐくまれてきた「水」と「土」と「里」が織りなす地域資源を、歴史的・文化的視点から見直し、伝統的な農業施設や美しい景観として、魅力のある田園空間を生み出します。これらを地域住民が主導的に活用して歴史教育、都市との交流、自然観察、体験活動などで地域の活性化を目指します。



田園空間博物館構想